

「心臓 MRI を用いた心臓再同期療法(CRT)後の治療効果予測」

に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年12月26日～2020年12月31日

〔研究課題〕

心臓 MRI を用いた心臓再同期療法(CRT)後の治療効果予測

〔研究目的〕

低心機能を伴う慢性心不全への治療手段として心臓再同期療法(CRT)があります。しかし、適応基準に合った患者に CRT 植込みを施行しても効果が得られないことがあります。これらをいかに改善していくかが今後の課題であります。そこで今回、病態把握に優れた心臓 MRI を用いた CRT の効果予測因子の同定を行うこととしました。

〔研究意義〕

過去の研究では、海外を中心として様々な CRT の効果予測因子の検証が行われてきましたが、それらは術前の患者背景、心電図検査及び心臓超音波検査結果を中心とした研究でした。近年では、病態把握に優れた他のモダリティの発展が目覚ましく、心臓 MRI はその代表といえます。

そこで今回我々は、心臓 MRI を用いた CRT の効果予測因子の同定を行うこととしました。

〔対象・研究方法〕

当院で心臓再同期療法(CRT)後の治療を継続されている方の身体所見、データ心機能(心電図、心臓超音波検査、心臓 MRI などの評価)、採血(血ガス、一般採血項目、高感度トロポニン T、ANP、レニン、レニン活性、アルドステロン、腎機能、BUN、電解質)、使用薬剤の内容(ハンプ、アンジオテンシン変換酵素阻害薬/アンジオテンシン受容体拮抗薬、 β 遮断薬、アルドステロン拮抗薬、ループ利尿薬、トルパプタン)、CRT 植え込み後の臨床経過、心臓カテーテル検査結果 を確認させていただきます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

調査より得られたデータを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮します。特定の個人を識別することができないよう、対象患者に研究登録番号を付与します。対応表は各施設の個人情報管理者が厳重に管理し、自施設外に情報の持ち出しは行いません。各施設からのデータは、匿名化され代表施設(東海大学医学部附属病院)に送付されます。東海大学医学部内科学系循環器内科学 教授 伊莉 裕二

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者： 帝京大学医学部附属病院 循環器内科 助手 宮川睦喜

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 7734]